

●岩政次郎右衛門 (1656~1736年 (明暦2~享保21年))

岩政与左衛門の二男。第4代庄屋を務め、父の悲願を聞いて長溝の築造を企画。領主吉川公に願い出て3ヶ年の歳月を要し1689年 (元禄2年)、延長約7キロにわたる灌漑用水路を完成した。



●岩政信比古 (1790~1856年 (寛政2~安政3年))

岩政信盈の三男で、幼名は要吉。本居宣長の高弟である、出雲の千家俊信に師事。新庄で第9代庄屋を務める傍ら国学塾を開き、門弟は200名余りとされる。信比古の思想 (復古主義に基づく尊王思想) は、月性、秋良敦之助によって尊王攘夷思想に発展し、討幕の基となる。新庄公民館近くに、1956年 (昭和31年) に建立した「信比古碑」がある。



●岩政隣徳 (1836~1884年 (天保7~明治17年))

岩政信比古の長男で、幼名は篤太郎。1851年 (嘉永4年) から17年間、新庄村の第10代庄屋を務める。1874年 (明治7年) 年に自宅を仮教場にして新庄小学校を開校。その後、伊弉諾神社などの神官を歴任した。歌人として著名で、明治時代に編さんされた「明治百人一首」の一句に、隣徳の和歌「ねの日してよはひを野辺にひく松はおのか千歳の友と植えまし」が選ばれた。



①岩政次郎右衛門越智清信大人奥都城

1917年 (大正6年) 7月、顕彰碑として建立された。

②贈位記念碑

1928年 (昭和3年) に、長溝を完成させた功績により従五位が贈られた。1933年 (昭和8年) に記念碑を建立した。

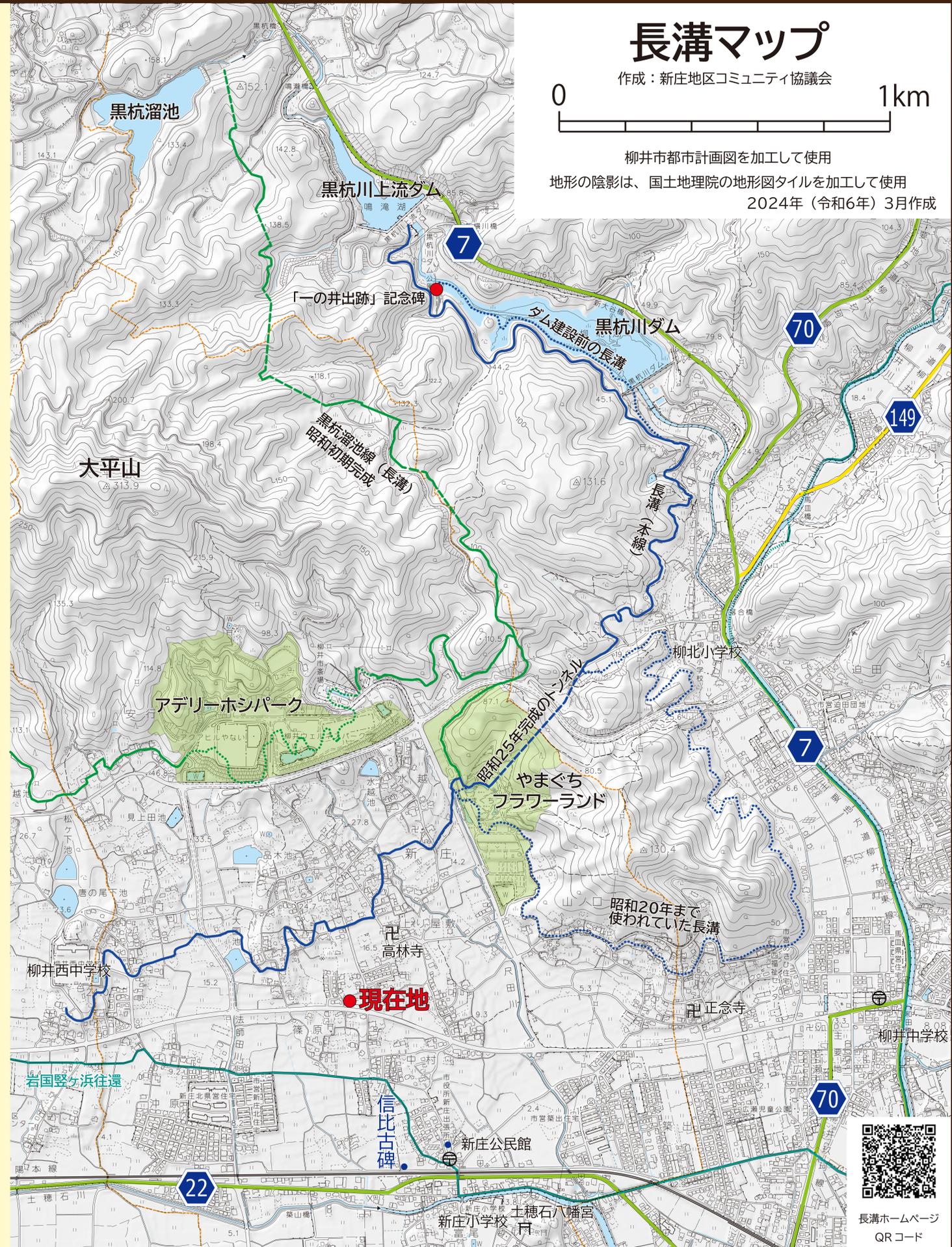
③記念樹

1935年 (昭和10年) 11月に植樹された。

●「一の井出跡」記念碑

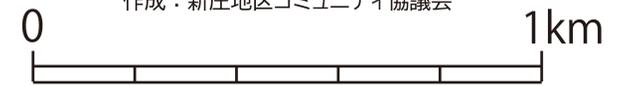
長溝完成当初の取水口は、黒杭川ダムの建設に伴い、1968年 (昭和43年) に460m上流へ移された。

1976年 (昭和51年) 10月、元の取水口の跡に新庄長溝水利組合により建立した。



長溝マップ

作成：新庄地区コミュニティ協議会



柳井市都市計画図を加工して使用

地形の陰影は、国土地理院の地形図タイルを加工して使用

2024年 (令和6年) 3月作成



長溝ホームページ
QRコード